

もなみっこ

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 学校だより

令和7年3月24日 発行 第5号

経験は身を助く！



校長 倉科辰男

春の便りが届く季節となりました。この年末は「ホントに冬なの？」と思うほど雪は見当たりませんでしたが、それも束の間、年が明けたら帳尻を合わせたかのように雪の日々が続きました。十勝では半日で120 cmという降雪があり、皆を驚かせました。

本日、卒業式がありました。ステージに上がり卒業証書を受け取るその姿は、自信に満ちあふれていました。高等部を卒業する生徒は、これからはそれぞれの場所での生活となりますが、体に気をつけて頑張してほしいと思います。

さて、ご承知の通り学期の始めと終わりには「始業式」「終業式」があります。式では校歌をうたったり転校する（または、してきた）子供の紹介をしたりしますが、必ず「校長先生の話」があります。その中で私はこの一年、子供たちに繰り返し話してきたことがあります。それは、

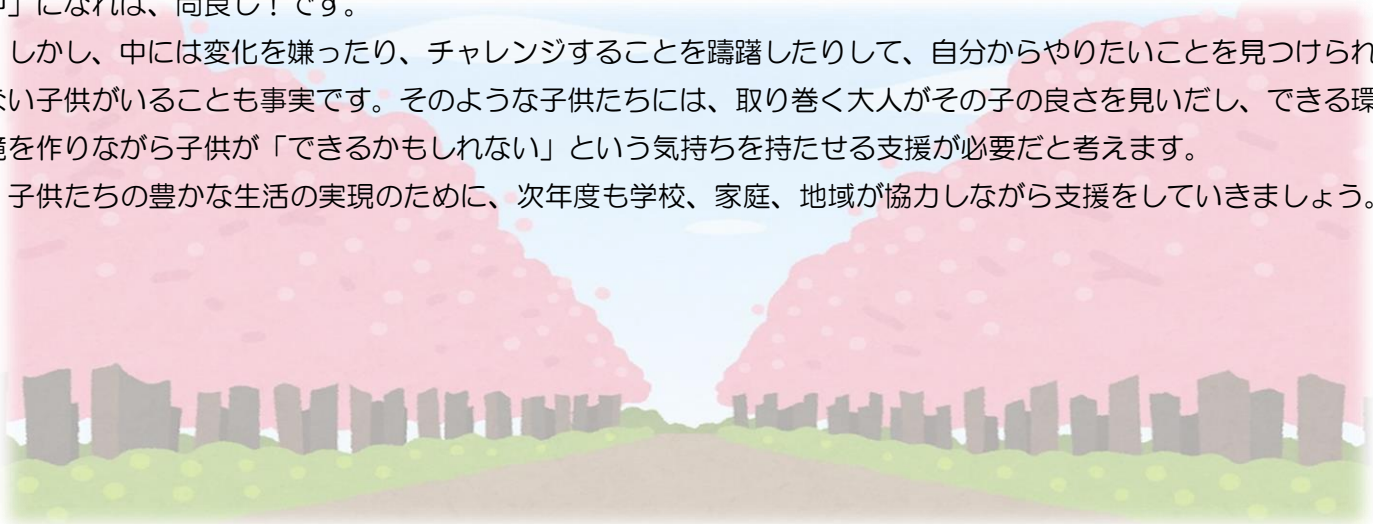
「自分の得意なことを見つけてください」

ということでした。このようなことを語りかけてきたのは、得意なこと、知りたいこと、夢中になれることがあれば毎日を楽しく送れるだけでなく、たとえ凹んでも夢中になっている間は忘れられるのではないか、と考えたからです。

“芸は身を助く”という慣用句があります。身に付けた知識や技能が思わぬところで役に立つ、という意味ですが、その知識や技能は何となく「秀でた」もの、「極めた」こと、と思ったことはないでしょうか。確かに秀でた知識や技能ならば最高ですが、私はそうでなくても良いと思います。例えばランニングやダンス、釣りや自転車など、今はやっていないけれどこれから始めようと思うことでも良いのです。経験したこと、あるいはそこで出会った人が“芸”の代わりとなり、身を助けることにつながるような気がするのです。その経験が「自分の夢中」になれば、尚良し！です。

しかし、中には変化を嫌ったり、チャレンジすることを躊躇したりして、自分からやりたいことを見つけられない子供がいることも事実です。そのような子供たちには、取り巻く大人がその子の良さを見いだし、できる環境を作りながら子供が「できるかもしれない」という気持ちを持たせる支援が必要だと考えます。

子供たちの豊かな生活の実現のために、次年度も学校、家庭、地域が協力しながら支援をしていきましょう。



卒業生へ贈る言葉

『そつぎょう おめでとう!』

小学部主事 加藤 雅恵



小学部6年生のみなさん、いよいよ中学生ですね。

1人から2人、そして3人になった6年生。卒業式は3人そろって晴れ舞台です。

3人で過ごした時間は短いけれど、運動会や学習発表会、校外学習、毎日の学校生活の中で笑ったり、怒ったり、一緒に頑張ったりといろいろな思い出があると思います。また、6年生の3人だけではなく、5年生や4年生ともいっぱい遊び勉強もしましたね。どんなことが一番思い出に残っていますか？

4月から中学校生活がスタートします。小学部にはなかった作業学習も始まります。先輩や新しい仲間にも出会えるかもしれません。小学部で経験し得てきたことに自信を持ち、これからさらに新しいことにチャレンジして下さい。そして、笑顔がいっぱい見られる中学校生活を送って下さい。応援していますよ。

「そつぎょう おめでとうございます!」

卒業を祝して

中学部主事 齊下 智大



中学部を卒業する6名の皆さんへ。

皆さんと出会い、共に積み重ねてきた日々はとてもすてきな思い出です。

陸上記録会では、最後まで諦めずに走り、高飛びや投てき競技にもチャレンジし、自分の記録を超えていくみなさんがとてもたくましく見えました。

学校祭では、日頃の学習の様子をみんなで協力して掲示し、舞台では歌やダンスなどの発表に取り組みました。本当に素晴らしく、とてもすてきな発表でした。

行事の他にも、日々の学習や、友達と楽しく協力しながら役割をこなし、様々な思い出を積み上げてきました。時にはいろんなことを考え、思うように行かない日々もあったかもしれませんが、でも、皆さんはそれを乗り越え、大きく成長しました。

中学部で得た経験は、これから皆さんがそれぞれの道を歩む上で、大きな支えとなるでしょう。

自信を持って、未来に向かって羽ばたいてください。ずっと皆さんのことを応援しています。

自分のペースで、ゆっくりと進んでください。焦らず、自分の力を信じて、一步一步夢に向かって進んでいきましょう。

ご卒業、本当におめでとうございます!

「卒業証書」

高等部主事 稲井 和代



卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんが今手にしている「卒業証書」は誰もがもらえるものではありません。「卒業証書」とは卒業を証明する文書です。特に義務教育ではない高等部の卒業というのは、3年間の学校生活を頑張った人にしか認められない特別なものです。一人一人の卒業までの努力や自分自身がどんな学校生活を送ったかどんなチャレンジをしたか思い出させてくれるこの「卒業証書」をどうか大切にしてください。そしてそれを受け取ることができた自分を誇りに思ってください。4月からは社会人です。迷ったとき、落ち込んだとき、「卒業証書」を見ながら、もなみ学園分校での学校生活を思い出して下さい。きっと皆さんに力を与えることでしょう。皆さんの更なる飛躍を心より願っています。

今年度も、多くの専門家の方にアドバイスをいただきながら子どもたちの指導・支援にあたってきました。その中から一部紹介をさせていただきます。いろいろな生活の場で役立つ場面があると思いますのでぜひ参考にしてください。

気軽にできるお口の体操

子育てサロン「イロドリ」代表

言語聴覚士：三上 愛 氏

「歯みがき」は
チャンスタイム!



歯を磨くだけでなく口腔内を刺激できるので頬や口の動きを高めてくれます。仕上げ磨きの時に、歯ブラシで舌の側面をタッチしてあげるのも有効です。口をゆすぐ時は口を閉じて「ぶくぶく」と頬を膨らませたりへこませたりできるのでとても良い口周りの体操になります。

吹きゴマ、変顔遊び、にらめっこ、ストローでコップの水を「ぶくぶく」など日常から楽しく遊びの中で唇や頬を動かしていけると、言葉の発音に変化が見えてきます。



巻き笛→